

6年生

～拝志から平和の輪を広げよう～

目標

戦争当時の様子について探求する活動を通して、「平和」について考えを深め、平和な世の中のために自分たちにできることを考える。

戦時中の市の様子や人々の暮らしについて知ろう。

- ▶ ○ 地域に残存する防空壕を見学する。



自分たちが住んでいる地域に防空壕があるなんて知りませんでした。



中の様子も見ることができました。

戦時中の市の様子や人々の暮らしについて知ろう。

▶ ○ 戦争体験者の話を聞き、戦争当時の様子を知る。



当時の東温市や松山市の様子が分かりました！



直接お話を聞くことで、戦争についてより具体的に知ることができました。

理国算
4 外 Let's go to Italy. (1-3冊)
5 体 水泳 (水泳セット)
6 14:30 下校
本アソビ (木曜まで)

日本の戦争当時の様子や広島、原爆について調べよう。

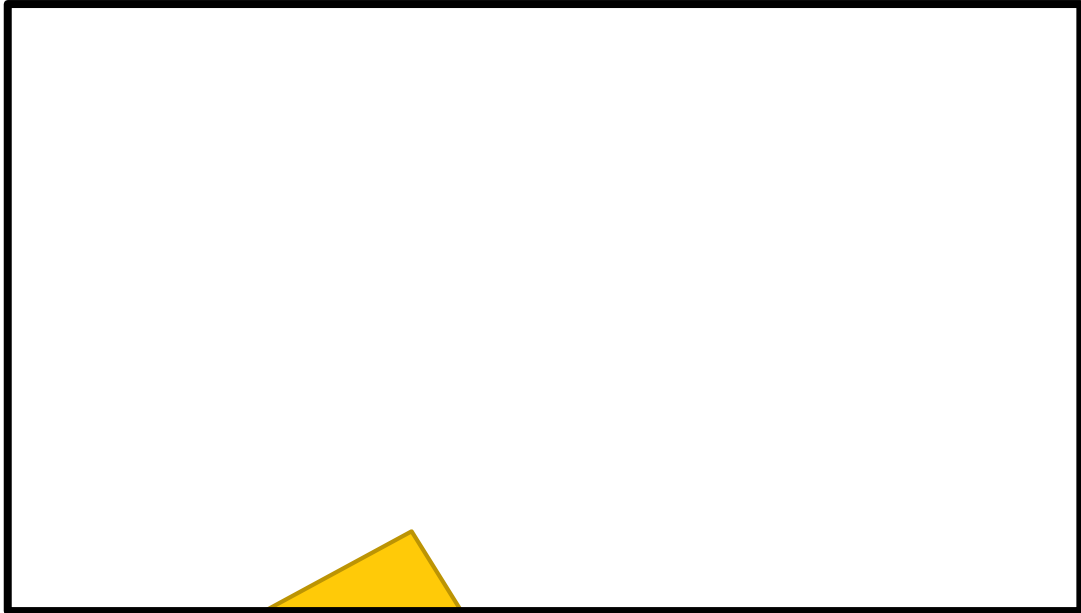
- ▶ ○ 戦争映画を視聴し、感想を伝え合う。
- ▶ ー はだしのゲン
(原子爆弾が落ちた広島当時の様子を知る。)
- ▶ ー 陽光桜
(同じ東温市出身の陽光桜をつくった高岡さんの平和への切なる願いを知る。)



自分で課題を設定し、調べたことをまとめよう。

- ▶○ 1人1台端末を活用し、インターネット等を活用しながら、自分で決めたテーマについて調べ学習を行う。
- ▶○ 調べたことをパワーポイントにまとめて、友達に発表する。

児童が作成したスライド①



戦時中の服装について調べました。現在の服装と全く異なることに気付きました！



世界の核保有国について調べました。こんなにたくさんの国が所持していることに驚きました！

児童が作成したスライド②

戦時中の食事について調べました。今とは違い、満足のいく食事ができない状況だったことが分かりました！

愛媛県の戦争による被害について調べました。いろいろな市が被害にあったことを知りショックでした。

児童の感想

世界が平和になるために僕ができること

戦争がなく争いもなくみんなが笑顔で暮らせる社会が平和だと思います。誰もが幸せだと思える社会ができたらいいと思いました。そのためにもまず僕が誰にも平等に接するなどして、みんなが幸せだと思えるような世界になるように行動していきたいです。

感想

戦争中では、着るものや食べ物、学校など不便なことがたくさんあったんだと知りました。そんな暮らしをしていた時期があったのに、今こうして何一つ不便なく、暮らせているということに日々感謝して生活していきたいと、改めて思いました。また、戦争中に遊んでいた遊びが、今の子どもたちが遊んでいる遊びにつながっているということも初めて知りました。

戦争を学んだ感想

今戦争があったとしても数か国だけだと思っていました。しかし実際は45もの国が戦争をしていると初めて分かりました。

戦争や紛争をしている国は子供が武器を持たされたり戦争の現場に行ったりしていると知りました。自分に置き換えて考えてみると、とても耐えられないと思います。

このようなことを知ることができたからこそ、今自分ができる最大のことをして、1つでも戦争、紛争をする国がなくなるようにしたいです。

成果

- 地域の方々に協力していただき、地域教材を活用したりすることで、戦争をより身近に捉えることができ、学びの質が高まった。
- 自分たちが調べたことを、プレゼンテーションソフトを使ってまとめることで、図や画像を効果的に取り入れながら、分かりやすくまとめることができました。

課題

- ▶○ 現代の子どもたちにとって、戦争は遠い存在になりつつある。また、戦争を知っている、あるいは体験している方々も少なくなってきた。1人1台端末のよりよい活用方法を探り、子どもたちが自分事として捉え、平和への意識が高まるような取組を考えていく必要がある。